

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.1005
2023.10.22

発行

松村 としお
久保 みき
金子 あきよ

とば めぐみ
たけこし 連
池田 めぐみ

日本共産党さいたま市議会議員団

TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165

ご意見・ご要望はこちらにお寄せください



2024年度予算要望を提出

物価高のいまこそ 市民応援の予算に

党市議団は来年度予算に対する要望書を市長に提出しました。財政の基本的な使い方から教育・子育て、福祉やまちづくり、地域要求や国・県に市から要望するよう求める事項など市政全般736項目にわたるものです。とりわけ、物価高騰が続く状況で市民生活



や地域経済は厳しいものがあり、負担軽減や業者支援の充実を求めるものとなっています。

市は来年度予算は322億円不足と強調し、マスコミも大々的に報道しています。2022年度決算で明らかになった市の財政状況は、約60億円の黒字を出し、過去最高895億円の基金をため込んでいます。財政の使い方を市民生活優先に切りかえることが強く求められています。大型のハコモノ建設・開発を次々推進することで建設債(公共工事に係る市の借金)が年々増加していることが「財政不足」の大きな原因です。この財政構造を見直せばくらし・地域経済優先の党市議団の提案は実現可能です。

予算要望提出にあたり、松村としお市議団長

は清水勇人市長に対し「物価高騰のなかで市民生活は厳しい。そこにこたえる予算をつくってほしい。財政は厳しいというが過去最高の基金をため込んでいる。財政を圧迫するのは大型開発と大型ハコモノ計画。市民負担増や市民サービス後退を招かないよう市長がハンドリングしてほしい。また市民プール統廃合や義務教育学校、ミニアリーナ建設など各地で市民から異論が出ている施策が多くある。市民の声を聞き、生かす市政運営をしてほしい」と求めました。

要望書を受け取った清水市長は「のちほど読ませていただきます」と答えました。

今後の議会論戦や市民運動と力をあわせて要求実現に全力でとりくみます。

「放課後子ども居場所事業」 モデル事業を開始

9月議会に提出された、「放課後子ども居場所事業」のモデル事業について、久保みき、とばめぐみ、金子あきよの各市議が議論をふりかえりました(司会はたけこし連市議)。



たけこし 今議会で問題となった「放課後子ども居場所事業」ですが、どんな事業なのか？

金子 小学校内の特別教室などを利用して、校区の児童であれば誰でも登録でき、定員のない「子どもの居場所」を提供する事業です。保護者の就労などの要件があれば夜7時まで、土曜日や長期休業中は朝8時から利用できるとしています。今回はモデル事業として4校(西区栄小、中央区鈴谷小、浦和区岸町小、岩槻区新和小)が選ばれ、来年4月1日からスタートする予定です。この4校の公設放課後児童クラブは廃止。今議会には事業の内容を定める条例案と現行の公設放課後児童クラブの廃止案、実施のための補正予算が提案されました。



金子あきよ市議

たけこし 保健福祉委員会ではどんな議論がありましたか？

久保 9月15日の委員会では、全議員からさまざまな質疑が出ました。特に多かったのはこの4校の選定理由です。それぞれの待機児童は0~5人と少ない。鈴谷小だけは26人であるものの、あらたに民設学童が開所されて待機児童はいなくなる予定で、市もそれをわかっていた。事業の導入目的としている「待機児童解消」は嘘ではないが、と大騒ぎになりました。もう1つの目的は、保護者会運営のクラブが分離、新設のときの場所探しが大変なので保護者の負担軽減のため、とのことでした。でも保護者会運営のクラブでは、委託費が少ないために事務職員が雇えず、保護者が支援員の面接をやったり、保育料計算をやったりと事務負担が大きい。そのため委託費を増額してほしいというのが願いののに、その声には応えていない。私は到底納得ができませんでした。



久保みき市議

たけこし 実態にも要求にも噛み合っていないってことですね。

久保 しかも、市は「今後、モデル事業による子どもたちへの影響などをしっかり見ていきたい」って言いながら2025年度も新たに展開するというんです。

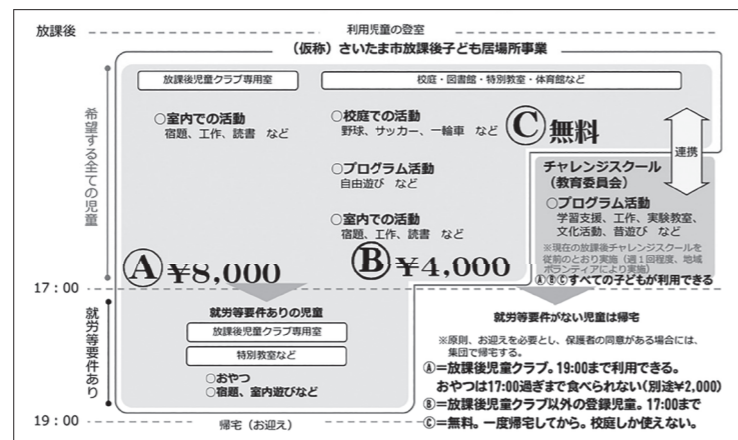
たけこし モデル事業の検証もしないうちから次を用意している。もう全校実施を視野に入れてるんですね。

久保 それから支援員。放課後児童クラブの配置基準は子どもの数に応じて細かく決められています。ところがこの事業では20人に1人。放課後児童クラブとしての配置基準より手薄になってしまう。それからおやつ時間は5時とのこと。今の「3時のおやつ」が「5時のおやつ」になる。常識的に考えて、5時におやつって遅いですよね。いずれにしても子どもの安心・安全を守る体制とは言えません。

3パターンの子どもが混在する

たけこし 補正予算が出たので、予算委員会でも問題になりましたね。

とば わかりやすくするため、図にまとめました。Aが利用料8000円で7時まで利用できる子ども。Bが利用料4000円で5時まで利用できる子ども。A・Bは登録する子どもたちで、Cは、登録せずに学校で遊ぶ子どもたち。その他にチャレンジスクールが各校で実施されていますが、ABCの誰でもこのチャレンジスクールに参加していい、となっている。AとBの子どもには居場所事業として大人がつく、チャレンジスクールのある日はボランティアさんもいる。このABCが混ざった「居場所」のなかで、その子に誰が責任を持つのか、どう共有するのかを質すと、



(市の報告資料をもとに党市議団が作成)



とばめぐみ市議

「わかるように引き継ぎをしっかりとやります」という答えでした。そもそも誰が見てるかわからないのに、どうやって引き継ぐんでしょう。そういうあいまいな答弁がいろいろところで出てきました。

たけこし 学校のなかにA・B・Cと、3パターンの子どもが混在するんですね。

とば それを誰が判断できるのか、ってことです。Aの子どもは放課後児童クラブの子どもだから、支援員がわかるでしょう。だけどBの子どもは日替わりで、登録しているけど行くも行かないも自由だから、今日誰がきてるのか、ちゃんと出席取るのかってということも、よくわかってない。

金子 先行自治体では全校生徒の3~4割が登録、そのうち半数が毎日利用する見込みのようですね。

とば 例えば600人の学校で200人程度の生徒が登録、来るのはその半分、と見込んでいるものの、最大200人来るかもしれないわけですよ。

たけこし その時、200人のランドセル、一体どこに置くんでしょうね。

とば 人件費の予算は、この事業全体で7000万円、4校で37人のうち7人が常勤職員(新和小1人、それ以外の3校は各2人)で30人はパートだということでした。放課後から最後までずっとおとして子どもを見てくれる人はいるのかと質すと「いる」とは答えましたが、本当に検証できているとは思えません。

金子 そうですね。こういう体制では、なにより子どもが不安ですよ。5時までの時間帯は、これまで放課後児童クラブでおこなわれていた活動はできない。「これまでどおりの子どもに寄り添った支援を受けたいという人は民設の放課後児童クラブに行ってください」と担当課長が答弁しました。びっくりしましたね。私は「わかりました。この事業では子どもに寄り添った支援はできない、ということですね」ときっぱり言いました。

とば それから担当部長の「この放課後子ども教室と放課後児童クラブは子どもを安心・安全に見守るということについては、なんら変わりはありません」って答弁もありました。放課後児童クラブの支援員というのは安心・安全に見守るだけじゃないわけです。事例研究して、もっと子どもを理解するにはどうしたらいいかってことをみんなで勉強してきたのが放課後児童クラブです。その人たちと長年付き合ってきた部長が、ただ見守るだけ

だって言い切った。この答弁も本当に許せなかったです。

各会派の採決態度は?

たけこし そういなかで討論採決を迎えたわけですね。各会派の態度はどうだったんでしょうか。

久保 多くの放課後児童クラブ関係者の方たちが連日議会の傍聴に詰めかけたなか、私は先ほど申し上げた問題点を指摘して反対しました。維新は反対、自民党の井原市議(中央区)は退席でした。しかし賛成多数で可決されてしまいました。

金子 私たちは予算委員会でももちろん反対しました。しかし他の会派はていねいな説明をおこなっていくべきと言いつつ賛成、無所属の2人の議員は反対でした。維新は保健福祉委員会では反対でしたが、予算委員会では賛成しました。予算に賛成すれば結局事業はすすんでしまいます。

たけこし 準備不足なのは否めないなかでも市は押し通したし、議会も止めなかった、という関係だと思うんです。

久保 その影響が結局誰にいかっていう子どもたちです。

とば これからの居場所のあり方を厳しくチェックしていくことが必要ですよ。

たけこし 党市議団として、今後も言うべきことをしっかり言っていきたいと思います。

あなたの身近な市議会議員です



緑区
松村としお



桜区
久保みき



南区
金子あきよ



見沼区
とばめぐみ



中央区
たけこし連



浦和区
池田めぐみ